



今月の話題：ゲルジア共和国の国名表記を国際表記のジョージア共和国に改称する法案が可決されたとの報道があった。立場を変えていけば、日本を倭国と言い続けていた国があったという事だ。それも大統領が来日しての直談判によるという。大事故や外圧がなければ現状を変えないという保守主義は我が国歴史の各場面に登場する。国際的には鎖国主義とも云え、問題が生じて慌てて先進国に調査と称して教を乞いに行く場面もしばしばである。わが建築部門ではどうか。新耐震から既に 35 年が経つ。次の大災害までは新耐震なのだろうか。(伊藤誠三)

### □ 本部便り：(金森捷三郎記)

・拡大理事会の主な予定議題は、「今期、1 月からの活動状況と今期の収支予測」

○次回拡大理事会：5 月 20 日(水) 18:00~

### □ 建築部会：(安部重孝記)

・サーツ寺子屋第 2 回 6 月 26 日(金)サーツ事務所に開催予定、テーマ「マンション衛生設備の維持管理と改修」講師：仲村元秀(株)ジェス設計)マンション管理組合の方からも申し込みがきている。

・建築技術普及センター普及事業助成に「シンポジウム-マンションの資産価値を高めるために」で応募した。採用の可否は 6 月末に決定される。

・「安心して長く住めるマンションの選び方」冊子作成WGにてまとめ中(担当：岡本他建築部会・集合住宅部会)

・技術相談：錦糸町の地下工事による周辺地盤の沈下(担当：丸山、柳川、筒井)、台東の中古マンションの改装支援に 対応中(担当：丸山、安部、柳川)。

○次回建築部会 WG：今月おやすみ、建築部会：5 月 18 日(月)17:30~19:00

### □ 戸建住宅部会：(阿部市郎記)

・4 月 1 日より施行された平成 25 年省エネルギー基準対応の合理化システム長期性能タイプの変更申請は事務局を委任されている合理化システム普及協会 A 型と、その他、個別に認定取得済の工務店よりの受託を含め、終了した。国の新年度予算も公表され、補助事業は省エネ関連の長期優良リフォーム、低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅にシフトしているので、ホームビルダーの関心が高まっており、今後の省エネルギー基準対応の技術知識向上が重要と考えている。

・木材利用ポイント建物追跡調査は部会員の協力により全国的に抽出された調査か所の調査を終了した。

○次回部会予定：5 月 8 日(金) 18:00~ ショートレポート：菅沢光裕氏「オールドカメラの魅力」

### □ 集合住宅部会(小畑晴治記)

・マンション再生なび”とのタイアップ事業“都公社久米川駅東住宅”勉強会を 4 月 18 日、現地集会所で開催した。サーツから、岡本・濱中・小畑の 3 名が出席「現状の建物を維持改修して行う団地再生」というテーマで解説した。30 数名の参加者から、熱心な質疑を受け、活発な意見交換ができた。また、その中の核心的課題：「耐震改修をどう考えるべきか、都公社が指導する方法で心配ないか」について、「都公社に内容を聞いた上で判断することが大切で、管理組合の要請で対応して頂ける筈です」とのコメントしたところ、翌日に公社から、説明させて頂くととの反応が管理組合側に入り、24 日(金)岡本直氏が説明に立ち会った。

○次回部会予定：5 月 26 日(火) 18:00~

### □ マンション管理組合支援事業部(向野元昭記)

・現在、塚部 PM の担当で川口 PT マンションの大規模修繕の設計監理の場合の経費の見積りを作成中。5 月半ばに提出予定。

○次回部会予定：5 月 26 日(火) 16:00~17:30

### □ LLB 技術研究会(安孫子義彦記)

・3 月 25 日「アルミサッシと玄関扉の改修方法」というテーマで第 5 回プレマルシェを開催した。出品者である日本総合住生活(株)(JS)様からアルミサッシの下框取替工法やプレスドア断熱工法など興味ある改修技術が披露され、活発な質疑が行われた。詳細は後日。

### □ 建築技術誌 5 月号サーツ欄掲載記事

・小藤捷吾：住宅産業の近未来

・金森捷三郎：平成 27 年度通常総会報告

・連載中の「建築の夢、そして未来」は 7 月号和田先生執筆で終了。8 月号から「建築の喜怒哀楽」開始

□ 短信：4/25 ヒマラヤで大地震災害が発生。昨年 11 月、丸山、伊藤で災害地ポカラ、バクタプルを訪れている。概要についてまとめればお伝えしたい。

□ 余滴：青葉風路地の奥まで吹き抜けり 捷三郎